

項目番号	1	項目	学習内容を明確にした授業の徹底
学校名	寄居町立用土小学校		
タイトル	学習内容の明確化		

板書計画を立てて、算数の1時間の学習内容を明確に！

～1時間の授業が見える板書をめざして～

- ◇学習内容が分かる板書◇
- ◇学習過程（思考過程）が分かる板書◇

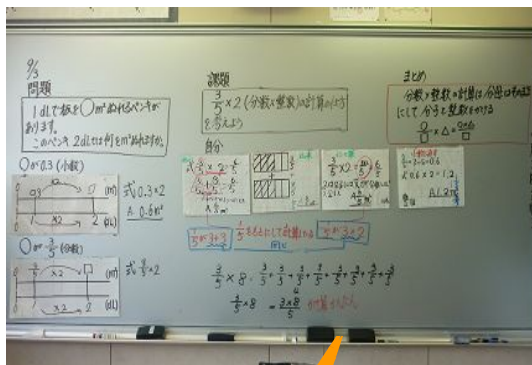
<板書計画例>

板書計画 6年 題材名「分数×分数」 (1/5)

メモ欄

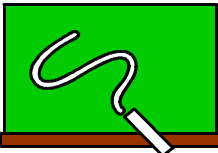
- ★立式の段階で板書範囲(1/3, 2/3)の線も入れておくようにする。
- ★分数でかける意味を持たせた後、計算の仕方を課題にする。
- ★児童のアイウの考えは、小黒板に書かせておく(黒2時でも提示するため)
- ★第1時では、分数×分数の計算の仕方をまとめないで、それぞれの考えを板書して、既習事項(分数×整数、分数÷整数、図や数直線の利用、かけ算のきまりの利用)を利用して、ことを選択させる。
- ★第2時で、計算の途中式案に着眼させ、分数×分数の計算の仕方などをおさらいさせる。
- ★子どもは、途中式を案のように書かず $\frac{4 \times 2}{5 \times 3}$ としているので、10は、どう計算が解いた、 5×3 を出させる

<実際の板書例>



板書計画の下のメモ欄に指導や板書をする上での留意点を書いておく。

児童の反応等で板書計画と多少異なることもある。

- 
- ★ 新しい単元の導入で単元名を板書しない。
 - ★ 初めの問題に対する答えは必ず板書する。
 - ★ 課題に適したまとめ方をする。
 - ★ 板書したものを不用意に消したり、思いつきで板書したりしない。
 - ★ 色ペンを思いつきで使わない。色にきまりを持たせて効果的に使う。
 - ★ 板書する速さや文字の大きさに気をつける。
 - ★ 児童の考えを視聴覚機器で安易に提示しない。映像は板書として授業の最後まで残らない。使い方を工夫する必要がある。

【成果】 実際の板書と比べると、児童の反応などによって異なるところが出てくる場合がある。その原因を振り返っておくことが教師自身の授業への意識改革、指導力の向上につながっている。また、作成した板書計画や実際の板書は、データとして保存しているため、来年度と同じ題材を指導する際に、教材研究で活用できるものとなる。